

るが如き態度に對しては劃然たる差別をつけねばならぬ。尚産青聯に對しては全農組合員は前述の如き態度に於いて勤勞農民の要素と協力し、又産業組合を主体とする政治活動に對しても、産業組合加盟の全農會は全農の態度と方針を生かし、且つ所屬地の問題ある限りに於いてその情勢に應じて協力すべきである。

以上の本部方針は満場一致可決した。

### (三) 府縣會選舉に對する方針

今次の府縣會選舉は滿洲事変による政治的变化の稍沈靜に未し、再び切迫するであらう極東に於ける危機の波未だ高まらない小康状態の時期に行はれるのである。

即ち斯くの如き状勢下に行はれる府縣會選舉に對して我が全國農民組合は如何なる態度を以て臨むべきであるか？ 此れを懸視し、ホイコソトするが如き態度の誤まれることは言ふまでもないが、單に選挙戦が未をから候補者を立て、闘はなければならぬといふ云ふ様な過去に於て屢々行はれた如き漫然たる態度を以て臨むことも亦不可である。

即ち今次の選挙は我組合の目的、闘争を廣汎なる大衆の間とプロパガンダ

し、此の闘争を通じて大衆を我が組合に引きつけ、支持せしめ、加盟せしめて組織の擴大を図り、我組合の運動と従来の守勢より攻勢と転ずる機会として効果的に戦ひ抜かねばならぬのである。

又選挙戦に参加した場合、我々は當選第一主義の方針をとるか、また曝露主義の方針をとるか？ 従来は選挙戦に於て常に問題となつたのであつたが、此れを相反せる二つの方針として考へる事は断じて誤りである。

組合に於て候補者を立てた以上我々は之を當選せしむべく努力する下とは當然であるが、當選を図る二つの手段として、現在の政治、経済、社会の矛盾の曝露、痛撃を放棄し、組合の主張を三とさらに陰蔽するが如き態度を採つてはならない。

次に選挙戦に當つて各聯合会は選挙を行ふべき地區の選定、地區に於ける諸状勢、味方の勢力評價、選挙戦のその地區に於ける組合勢力の消長への影響等々を精密に調査し、然る上選挙戦を行ふべきか否かを決定しなければならぬ。選挙戦後に於て財政の差弊甚だしく日常闘争に差支へを生じ、或は人の和を欠いて統制に弛緩を来すが如きことも過去に於て屢々経験された事であるが、此の事も今次の選挙戦には充分注意した上出馬か否かを決定しな